

# みなと元町 TOWN NEWS



No. 306

発行:みなと元町タウン協議会 住所:〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 発行人:奈良山喬一 編集人:岩田照彦 電話・FAX:078-391-0831

## ストリートマネジメントに踏み込む時期が来た ゼンクリエイト 根津 昌彦

**昨**年12月末より2月9日までの間、『神戸三宮「えき〜まち空間」基本計画(案)』及び『新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画(案)』に関するパブリックコメントが募集されている。いずれの計画も、元町エリアに大きく関係する計画であることは間違いないが、「えき〜まち空間」基本計画の中で示されている「エアーマネジメント」について、今号では元町商店街がすでにその考え方を示したことを振り返っておきたい。

**上**記「えき〜まち空間」基本計画の中では、「エアーマネジメント」を次のように定義している。  
～ 市民、民間事業者、行政等

が連携して良好な環境や価値を維持、向上させるために、多様な関係者の協働によって、公共空間の利活用、管理運営を行うこと ～

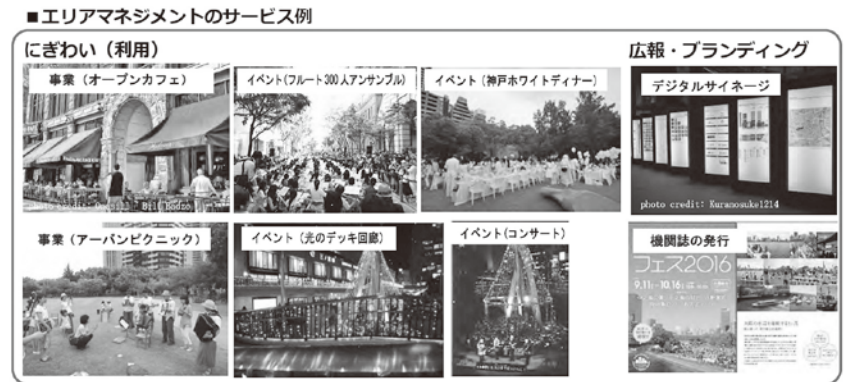
**ま**た、エアーマネジメントの例としては、本文下の写真のような事例を挙げている。

さて、元町商店街では、いまから約6年前の平成24年3月に、当時の神戸市産業振興局商業課とともに、「神戸元町商店街魅力アッププラン」というものを策定した。その中では、先に示した「エアーマネジメント」に相当する「ストリートマネジメント」について言及している。内容は、次のとおりである。

**「神**戸元町商店街の魅力アップのために、現状の連合会や振興組合といった既存組織の限界を超

えた「①テナント誘致・不動産の健全な管理」「②道路空間のオープン化の推進(適正な維持管理とセット)」「③街並み形成ルールの厳格な運用」の3事業(取り組み)を行うことを目的とするため、活動対象も既存組織が扱うエリアと同一エリアからスタートすること。(中略)今回の調査でも組合員から設置の必要性の声が上がっており、にぎわいのある商店街空間づくりに一定の寄与をしていると考える「突出し看板」「テナント」、店先の「ワゴン」「置き看板」に関して、商店街振興の観点から、積極的に道路占用の要件緩和を行うことを提案したい。(中略)神戸市と神戸元町商店街連合会との間で、(元町商店街の通り上の)物件設置場所をあらかじめ合意し、その範囲の中に設置する(占有する)上記物件は、占有範囲に応じて応分の占有料を神戸市に支払う仕組みとする。ここで、占有する権利を有する事業者等を「神戸元町商店街の各商店街振興組合の組合員」であることを条件とし、かつ、道路占有申請及び占有料の徴収者は、神戸市からアーケード下の24時間歩行者専用道路扱いの車道の指定管理者となる新・ストリートマネジメント組織がこれにあたり、行政事務の簡素化を図る。得られた占有料は、これまでの行政ではなかった新たな収入源となり、新・ストリートマネジメント組織への指定管理料支払いのための財源にすることが可能となる。加えて、新・ストリートマネジメント組織は、定期的な収入源を得られるばかりではなく、新・ストリートマネジメント組織の出資者である各商店街振興組合の組合員獲得(加入促進)にもつながるという構図である。』

**上**記の考えは、これから本格議論がなされる神戸三宮「えき〜まち空間」のエアーマネジメントにおいても一つのパターンとなるであろう。大手デベロッパーが管理しているショッピングモールは、徹底した通路管理によって商業空間の快適性とにぎわいが保たれている点にある。いまこそ、ストリートマネジメントに踏み込む時期だと言える。



### 「元町・夢街道」

書店の話(8) 鳩居堂(7)

岩田 照彦

前回まで、鳩居堂出身の熊谷幸介が神戸で出版した書籍を紹介した。発行順に掲載した一連の書名は、寺脇弘光が「神戸史談」紙上で報告したもの、落合重信が「歴史と神戸九十九号」で取り上げたものだ。一連の書名を紹介したあと落合は、「学校の副読本その他啓蒙書が多い。当時の神戸の出版事業の限界を物語るものであろうか」と述べている。教科書であれば、科目名と文部省だけで分かるが、紹介された書物は、国語・算数・珠算・幾何学・代数・習字・図画・音楽・博物・地理・英語と教科科目は網羅するが、その後は全書・自在・細目・字解・問答・便法・摘解・字引・必携・例題・規範・練習・全書などであり、落合が指摘するとおり、教科書関連書籍であることは明らかだ。

兵庫県書籍雑誌商組合三十年史に、熊谷幸介は、「知事神田孝平氏小学校教科書の翻刻出版を民間にゆだねらるるに当り、其の司令に依つて県下の教科書を翻刻製本し、唐櫃様の容器に入れ羽織袴にて臍庁に納品とあり、明治三十七年国定教科書特約

販売店を設けるに当り、本県は熊谷、吉岡両書店にて文部省編纂の物を出版し、検査の上本県下に配布す」とある。教科書は文部省編纂のものを製本化したもので、自社出版の目録から除外したのだ。さらに同文中、「明治十七年には店舗を新築、熊谷久栄堂の名前で教科書を出版す」と書いているが、対外的に自社の立場をPRするものだったのだらう。

教科書関連書外で珍しいのは明治十五年の「豪商神兵・湊の魁」だろう。実物には編集出版人名は垣貫與裕で、売捌所に神戸相生町東詰と大坂府下高麗橋二丁目の熊谷久栄堂になっている。店主から広告料を集め、その額によつて店のスケッチ入りから店名だけのものまで、いろいろなサイズに分けて編集したものだ。店舗の募集と編集を担当したのが垣貫で、神戸と大阪で販売を担当したのが熊谷久栄堂、とすれば、同社の出版物とは言えないが、出版物販売に積極的な営業戦略の一環というべきか。

出版社名は、明治六年の「鳩居堂」をはじめ、明治八年から「熊谷鳩居堂」が登場、その後、「熊谷幸介」「鳩居堂」などを経て明治十五年から「熊谷久栄堂」が中心になる。ふるさと鳩居堂を久栄(キューエイ)堂にかさねた屋号は、京都を菓立ちし、開港後の神戸にはじめて根を張つた書店を宣言する発行所名と自負していたにちがいない。

### 栄町通クリーン作戦

栄町通まちづくり委員会は1月12日(金)10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなどへの不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、(神戸市住宅都市局)坂田竜一・田中淳也、(広島銀行)前川雅子、(トマト銀行)岡本昭彦、(兵庫県信用組合)市橋宏紀・豊明子、(三鈴マシナリー(株))野田常美、(神明倉庫)十時実希、(㈱イーエスプランニング)山内里奈、(佐野運輸(株))志賀俊之・粟井聡、(こうべまちづくり会館)小椋辰海、(新光明寺)中川俊・大森貴美子・藤田直之・篠原博明、(佐田野不動産(株))佐田野宏之、以上、17名のみなさんでした。毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。



### 編集後記

元町商店街で、統計作品の展示会があった日、係の方から「二〇一七年兵庫のすがたをいいただいた。兵庫の一日」がある。平成二十七年に兵庫県では一日に結婚した人七十二組に対し、一日に離婚した人二十七組とあった。結婚したひと三割強が離婚している勘定になる。その年、結婚した人たちが対象にしたものではないから、単純には考えられないが、離婚した人には、子供を抱えながらの方もかなりの数を占めるだろう。それにしても離婚率の高さに驚く。国は人口減に歯止めをかけようと色々な角度から制度の改正に取り組んでいるが、「欠婚」というべきこの高い離婚率も人口減に一役かっているのではないかと気がなるのだが…。

### 神戸元町商店街 楽市楽座 情報 2月

- ◆元町1番街商店街振興組合 TEL331-7850  
元町1番街水曜市  
2月21日(水)11時～19時
- ◆元町6丁目商店街振興組合 TEL367-5477  
「北はりまの酒」神戸元町バル  
2月16日(金)15時30分～19時30分  
モトロク市 2月24日(土)・25日(日)11時～17時
- ◆風月堂ホール(有料) TEL321-5555  
もどまち密着「感雑亭」  
2月10日(土)  
林家 愛染 笑福亭 風喬 林家 花丸  
桂 春若 桂 文昇 桂 塩鯛  
前売券は1月11日より風月堂で発売
- ◆こうべまちづくり会館ギャラリー(無料) TEL361-4523  
2月1日(木)～2月6日(火)  
第20回きんもくせいひの会絵画展(水彩)  
2月8日(木)～2月13日(火)  
一期一会の会(KSC15期)  
第13回絵画展(油彩・水彩)

# 海という名の本屋が消えた (51)

平野義昌

## 松方幸次郎 その1

2016年、フランスの建築家ル・コルビュジェの建築群が世界遺産に登録された。東京上野公園内の国立西洋美術館もそのひとつ。ここは《松方コレクション》と言われる作品群を中心に西洋近代美術を収蔵している。《松方コレクション》のために作られた美術館である。ちょうど同じ年に神戸市立博物館で開催された《松方コレクション展 松方幸次郎夢の軌跡》に多くの観覧者が集まった。神戸にたいへんゆかりの深い人物ゆえ、1989(平成元)年にも神戸市制100年を記念して、《松方コレクション展——いま甦る夢の美術館》が開催された。

第一次世界大戦中から、川崎造船所(現川崎重工業)社長・松方幸次郎(1865~1950)が個人資産を投じて、一万点を超える西洋絵画、彫刻、工芸品を蒐集した。このうちパリに保管していた蒐集品約400点が第二次世界大戦中にフランス政府の管理下に置かれ、戦後サンフランシスコ条約によりフランス国有となっていた。条約締結後から吉田茂首相が返還交渉を開始、フランスは返還条件として美術館創設を要望した。1954(昭和29)年、日本政府は国立美術館新設を決定し、59(昭和34)年、フランス政府の好意によって370点が寄贈返還された。オーギュスト・ロダン「考える人」他の彫刻、クロード・モネ「睡蓮」、ルノワール、マネ、ゴーガン……、《松方コレクション》のおかげで、私たちは日本で西洋近代の名画を鑑賞することができる。残念ながら返還されなかった名品もある。

この松方幸次郎という男は蒐集した美術品を公開するための壮大な美術館建設構想も持っていた。前号まで紹介した池長孟より前の時代に途轍もないことを考えていた。

幸次郎は川崎造船所他、神戸新聞社など多くの企業を率い、神戸財界のリーダーだった。明治維新の元勳・松方正義(1835~1924、薩摩藩出身、大蔵大臣、首相を歴任)の三男、1884(明治17)年から6年間アメリカに留学。ラトガーズ大学で科学、エール大学で法学を学んだ。

幸次郎の留学費用は、川崎造船所創立者・川崎正蔵(1837~1912)が負担した。正蔵は薩摩の呉服商の生まれ、貿易・海運事業に従事し沖縄航路を開拓した。たびたび海難事故に遭ったことから自分で近代的造船業を興した。1878(明治11)年、東京築地に川崎築地造船所を創立、松方正義(当時大蔵大輔=現在の次官)の支援があった。83(明治16)年には兵庫造船所を払い下げられ、川崎兵庫造船所を開拓した。留学費用は正蔵への政治献金である。

91(明治24)年、幸次郎は正蔵(第一次松方内閣)の秘書となる。翌年正蔵が退陣し、幸次郎も政界を離れる。94(明治27)年、保険会社副社長の他、銀行、鉄道会社の重役に就任しているが、父親のコネだろう。

正蔵には男児が3人いたが、皆若くして亡くなっている。三男新次郎は幸次郎と同時期にアメリカ留学し、現地で病死。幸次郎は埋葬に立ち会い、帰国後正蔵に報告した。96(明治29)年10月、正蔵は幸次郎を川崎造船所の社長に抜

擢した。この年9月、正義は再び首相に就任、国策として造船奨励法を施行していた。

正蔵は薩摩コネクションを利用しただろう。幸次郎は権力者の血縁であるが、ただのボンボンではない。東京大学予備門時代、規制を強める学校に反抗し退学処分になっている。頭脳優秀、正義感が強く、アメリカで自由と民主主義の洗礼を受け、指導力と国際感覚を備えていた。正蔵は幸次郎の才覚に期待した。

川崎造船所は正蔵の個人商店経営だった。業績は順調で、日清戦争の特需もありフル操業だった。しかし、大型船を修理・建造できるドックがなかった。戦争によって船の大型化は急務、日本勝利でさらなる軍備拡大は間違いなかった。ライバルの三菱造船所は長崎にドックを持っていた。巨大ドック建設のためには多額の資金と株式会社組織が必要だ。正蔵は会社の舵取りを幸次郎に託した。幸次郎が社長、正蔵の甥で娘婿・川崎芳太郎が副社長、正蔵は顧問となった。

1902(明治35)年6月、ドック完成第一号の船が修理に入った。正蔵が建設を決意して10年、着工して6年、総工費170万円(同社資本金400万円)、延べ15万人を動員した難工事だった。このドックと幸次郎の指揮によって造船所はさらに飛躍する。正蔵は海軍から潜水艇建造の注文を受け、鉄道車両製造に進出する。12(大正元)年には戦艦も建造できるガントリークレーンが完成した。

幸次郎の経済・政治活動、川崎造船所の歩みについては『火輪の海(上・下)』が詳しい。本稿では《松方コレクション》を中心に紹介したい。

幸次郎が美術に関心を持ったきっかけは、1916(大正5)年の欧米出張。第一次世界大戦で幸次郎は世界の船不足を見通し、貨物船を造った。船の既製品=ストックボートである。受注生産ではなく、船をすぐ欲しいという客にこちらの言い値で売る。幸次郎は社内外の猛反対を押し切り、全社あげての生産体制に入った。鉄鋼は確保していたが、それも底をついた。幸次郎自らアメリカで鋼材を買い付け、ヨーロッパで船を売るため単身大西洋を渡る。ドイツ海軍が制海権を握っていた。

〈潜水艦が跳梁する大西洋に好き好んで来る日本人などほかにいなかったのだ。しかし、恐怖心など二の次である。一万五千人が火花を散らしてとりかかっているストックボートを生かすも殺すも自分の腕次第なのだ。後退は許されない。〉<sup>註1</sup>

決断と行動、幸次郎は乱世・激動時代の経営者と言える。

幸次郎は神戸の商社・鈴木商店ロンドン支店を拠点に船を売った。同支店長・高畑誠一が秘書役である。そのロンドンの街角で幸次郎は数

そのものより、ポスターの及ばず意外な方の方に関心が向いた。〉<sup>註1</sup>

幸次郎は仕事人間で、趣味というものがなかった。かつて美術好きの部下に、絵は隠居してから楽しむもの、仕事第一、と怒鳴ったことがあった。その本人が外国のポスターを見て芸術に開眼した。

〈優れた絵は、文化の一つの頂点であり、国の豊かさのシンボルでもある。国力は、造船などの重工業だけで計れるものではない。貧弱なポスターしかない日本は、文化の面でも欧米に大きく遅れている。〉<sup>註1</sup>

欧米社会には優れた文化を育む土壌がある。国家が文化を戦争に利用し、画家と印刷技術を動員する。

当時イギリスでは فرانク・ブラングイン(1867~1956)という画家が影響力を持っていた。夏目漱石『それから』(1909年発表)の主人公が《ブラングイン》の絵を論じているほど著名な画家だった。幸次郎が初めて買った絵はブラングインの作品と言われている。造船所の絵だった。高畑は幸次郎のアパートに絵が飾られ、次第に増えていくことに気づく。

幸次郎が絵画購入に踏み出した理由は諸説ある。前述の西洋文化に着目したこと、アメリカの友人に日本の資本家の気前の良さを示すためとも言われている。もうひとつ、ロンドンの日本人クラブで文化人・留学生たちと話すうちに、西洋文化を日本人に見せることの重要性に気づいたことが挙げられる。

〈幸次郎は、／「これは、おいの終生の仕事じゃ」／と思った。／言葉や文字以上に絵は見るものを揺り動かす。しかし、その優れた西洋画を日本の貧しい画学生は見ることができない。ならば、富豪の一人として名を成した自分が、西洋画を買って日本に持ち帰ろう。単に画学生だけでなく、先進国の文化を知らない一般大衆にとっても、絵は多大な感銘を与えるだろう。〉<sup>註1</sup>

日本の国策は富国強兵、文化に目が向いていない。幸次郎は文化輸入を趣味ではなく、「仕事」=使命と捉えた。

このロンドン出張だけで幸次郎は12隻の船を売った。「ボーナスだけでも70~100ヶ月分」<sup>註2</sup>と言われている。この資産は蒐集するために大きい力になった。

幸次郎は協力者と出会う。

註1 神戸新聞社編『火輪の海——松方幸次郎とその時代——(上・下)』神戸新聞総合出版センター 1989~90年(全1巻復刻版2007年刊、同新装版が2012年刊)  
註2 『松方コレクション展 いま甦る夢の美術館』カタログ神戸市立博物館 1989年



「松方コレクション展 いま甦る夢の美術館」カタログ神戸市立博物館 1989年



神戸新聞社編『火輪の海——松方幸次郎とその時代——(上・下)』神戸新聞総合出版センター 1989~90年(全1巻復刻版2007年刊、同新装版が2012年刊)

校のポスターを目にした。〈それは、大戦に際して愛国心を惹起し、義憤を募らせ、カンパを求めらるおびたしい戦争ポスターだった。人々は次々と張り出されるポスターを食い入るように見つめた。幸次郎は、ポスター

# 出来事ファイル (No.18-2)

## ■震災ウオーク

1月17日(水)阪神淡路大震災の記憶を新たにするため、今年もひょうごメモリアルウォークが開かれた。大倉山から元町商店街を經由してHAT神戸なぎさ公園へ向かうコースも例年通り行われ、10時を過ぎたところから6丁目の元町商店街につき、待ち受けた商店街役員総出で提供する飲み物を手に一休み、飲み干す暇もなく一路、商店街を東に向かって行った。



## ■賑わったクリスマス マーケットブース

氷見市からやってきたあすなろの木のクリスマスツリー。その隣に土日限り12月24日まで開店したクリスマスマーケットハウスに、元町商店街から神戸タータン・本高砂屋・k i i c h i・亀井堂・パオディロの5店舗が出店した。世界一高いクリスマスツリーに魅せられた人達で土日の開店日は人の列で身動きがとれないほどの混雑ぶりだった。



## ■12月1日「もときた」グルメ オープン

弊協会が中央幹線と元町商店街間の1から3丁目までの通りを「元町北通」と名付けて20年になる。一昨年、デザイナーの宮崎さんに依頼して街灯にバナーを掲出、飲食店の開業が目立つようになった。通りのさらなる賑いをと、このほどtwo five社が、人気ぐるめ店情報サイト「もときたグルメ」を立ち上げた。(https://motokita.net)



おいしい店が並んでいますよ。

## ■グラフィックコンクール優秀作品展

12月17日(日)11時~16時まで、兵庫県統計グラフィックコンクールの作品が元町3丁目商店街を会場に展示された。県内の小学生、中学生、高校生を対象に募集したもの。平野中学1年生の関戸千菜津さんは、一人あたりの食品ごみ焼却量を対象に調べると、ドイツの約150kgに対し日本は300kgと2倍。鮮度に敏感な結果と見られているようだ。



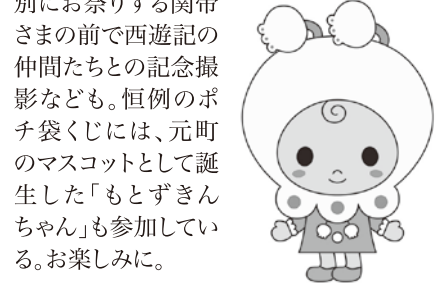
## ■麻薬・覚せい剤乱用防止街頭キャンペーン

昨年11月18日、兵庫県健康福祉局は、麻薬・覚せい剤乱用防止運動の一環として、神戸地区の街頭キャンペーンを元町商店街で展開した。中心になったのは、今年7月、神戸に生まれた薬物やアルコール依存症のリハビリ施設「一社・神戸ダルクヴィレッジ」、ボーイスカウト、ガールスカウトのみなさん。その他関係者93名が乱用防止をPRした。



## □第30回南京町春節祭ひらく

2月11日から南京町春節祭が開かれる。30回目を迎える今年、南京町広場で行われる行事は、中国歌舞団の舞踏や音楽のほか、3名が披露する変臉をはじめ、期間中、特別にお祭りする関帝さまの前で西遊記の仲間たちとの記念撮影なども。恒例のポチ袋くじには、元町のマスコットとして誕生した「もとずきんちゃん」も参加している。お楽しみに。



## ■幸せを呼ぶクリスマス

12月14日11時~6丁目商店街で、ぽかぽか利用者を対象に「幸せを呼ぶクリスマス」と題して、親子向けのクリスマスイベントを開いた。打楽器とピアノアンサンブルグループやママさんグループのハンドベル演奏のほか、モトクロクビンゴ大会、北播磨おいしんば館から亀井堂や力餅、生け魚なみき、などで使える100円チケットも賞品に。



## ■トーチラン元町商店街を駆け抜ける

知的障害者の自立を目的に、日常的なスポーツを通じ、国際的なスポーツ組織の行事を支援するための「ひょうごトーチラン2017」が12月13日(水)におこなわれた。14時15分兵庫県庁をスタート、その後「もとずきんちゃん」が出迎える元町1番街商店街でバトンタッチ、6丁目から鉄人28号モニュメント前のゴールへ向かって駆け抜けていった。



## □自動通話録音機で振り込め詐欺撃退

振り込め詐欺の被害は、兵庫県でも平成28年度中に約15億円にのぼっています。最近、詐欺の内容にはいろいろなパターンが発生しています。振り込め詐欺防止のため、警察では無料で自動通話録音機を貸し出しています。工事は不要で、自動的に警告、録音する機能があります。台数は限られていますが、希望者は住まいを管轄する警察署に相談して下さい。

